

FIVE VALUE ASSET

Monthly Newsletter

5バリュー通信 Vol.2

Date of issue: 2024.12.16

平素よりお世話になっております。5バリューアセットでございます。今月もマンスリーターとして5バリュー通信をお届けいたします。マーケットニュースのご案内の他に、時事に関するコラムなどを月に1回お届けいたします。お楽しみいただけますと幸いです。

Interview メンバーの言葉



副社長 兼 ヘッドオブ東京オフィス
山村 浩之

政府から「貯蓄から投資へ」の掛け声が発せられて久しいですが、将来の年金の減額は避けえないとの認識の広がりもあり、ここ最近ではNISAをスタートする人達が非常に勢いで増えており、投資への関心が高まっています。この流れを受けて、いかに多くのお客様を獲得するかが各金融機関の重要な課題となっており、多数のお客様に対応するために、AIなどを活用したサービス効率化を強力に推し進めています。その流れ自体を否定するものではありませんが、本来、ウェルスマネジメントでは一人一人のお客様との信頼に基づく絆が大切であり、この担当者だから、このお客様だからといった思いが長期にわたる関係につながる世界だと感じます。金融業界における効率化・デジタル化の流れが加速する中で、弊社はお客様と喜びや悲しみを分かち合えるようなつながり、言い換えれば、人の温かみを感じることができるとアナログの大事さを守っていきたくて思っております。

Topics 今月のトピックス



12 December 2024

- Holiday Rush
- At a glance 2024



- 年末商戦とクリスマスプレゼント
- 2024年の振り返り

Holiday Rush 年末商戦とクリスマスプレゼント

2024年もいよいよ残すところ僅かとなりました。毎年11月末から12月にかけては、日本に限らず世界中でセールが開催され、それらを皮切りに年末商戦が始まります。この時季はブラックフライデーという言葉をよく耳にされるかと思えます。これは、もともと米国の祝日である感謝祭（11月の第4木曜日）の翌日に休暇を取る人が多く、小売店が感謝祭の売れ残りを在庫一掃セールすることで、買い物客が殺到する日となったことが始まりとされています。

ただし、このブラックフライデーという呼び名、最初はネガティブな意味として用いられていました。1950年代は感謝祭の翌日に欠勤する人が多く、工場が平常通り稼働できなくなる日としてブラックフライデーと呼ばれていたのです。また1960年代には、フィラデルフィアの警察が感謝祭翌日は買い物客が街にあふれて警察の仕事が増える日だと嘆いて、この日をブラックフライデーと呼んでいました。1980年代にフィラデルフィアの地元新聞が「小売業者が儲かり黒字になる日」と呼びかけたことで、ブラックフライデーは今日のようなポジティブな意味として浸透していったのです。

さて、日本ではアマゾンなど海外企業のセールによりこのブラックフライデーが浸透し、そのまま年末商戦へ突入する流れが出来てきました。年末商戦ではクリスマスプレゼントとして、大人は少し良いブランドの小物や家電などを贈り合うことも多いかと思いますが、今回は子供たちへのプレゼントとなる玩具について注目してみます。



クリスマスプレゼントとして人気の玩具は時代とともに変化してきましたが、昨今再びカードゲームが注目されています。例えばポケモンカードはここ数年でブームとなり、日本に留まらず世界中でカードゲームの大会が開かれている程です。強いキャラクターのカードを集める工程や、キャラクターの特性や必殺技による攻防は、自分だけのパーティー・作戦を武器に戦えることから、年齢性別問わず人気を博しています。そんなカードゲームで取り上げられている作品・キャラクターとして代表的なものが前述したポケットモンスターですが、実はその他にも日本を代表する2作品について、海外人気が高まったことを受けて新たにカードゲームが発売されます。

その作品とは、ウルトラマンとゴジラです。子供時代にテレビや映画館で夢中になったり、人形で遊んだ方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。実は今、日本の特撮は海外で大人気となり、円谷プロは中国を含むアジアでウルトラマンのライセンス販売により業績も好調です。米国ではマーベルシリーズとのコラボも実現しています。ゴジラは生誕70周年を迎え、海外でも映画が製作されるほど人気が高く、東宝とブシロードによりカードゲームの発売が決定し、新作映画の予告も出るなどまだまだ広がりを見せそうです。

こうした日本のキャラクターコンテンツは上記作品以外にも海外人気が高く、今後どのようなライセンス拡大をするのか、メディアミックスがされていくのかが注目です。5パリュースクエアでも日本のコンテンツビジネス、メディアミックスについてのコラムを掲載しております。ぜひ併せてご覧ください。

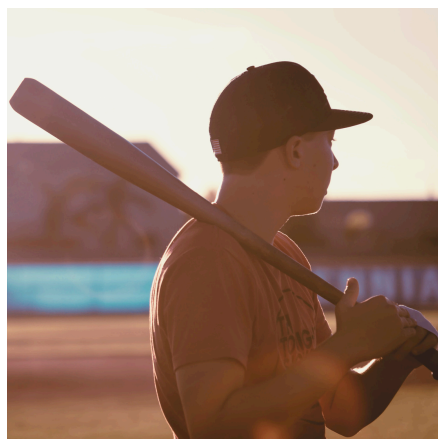


At a glance 2024 2024年の振り返り

今年はマーケットの大幅下落と急回復といった、乱高下が多発した1年でした。投資家が特に注目していたのは、米国の利下げがどのタイミングで、どれほどのペースで行われていくのかという点でした。大統領選挙を含め、今後の米国経済が堅調であるのかが重要なポイントとなり、早期すぎる利下げによるインフレ再燃の懸念や、企業業績の高止まりからの景気後退懸念など、市場が冷え込むきっかけとなる事柄に非常に敏感になっていたように思われます。

実際のマーケットではどのような動きがあったのか振り返ります。年初から金利の上昇と株高が続き、4月以降になるとさらに相場は勢いを増し、米国10年国債の利回りは4.7%まで上昇しました。金利はその後徐々に降下し、年後半に予想される利下げを読み込むような動きを見せました。対して株式は勢いを増し、7月にはS&P500は年初来から約19.5%上昇、日経平均は4万円を大きく超え、年初来から約26.8%の上昇を見せました。その後の8月の大暴落は、皆さまも記憶に新しいかと思います。好調だった半導体関連株や大型株を中心に大きく市場は下落しました。ですが、この暴落も長くは続かず、投資家のポジション調整を経て米国株は翌月の9月には年初来の高値を超えてきました。日本株は7月の高値には届かず、39,000円台へ回復した後やや足取りの重い展開を見せています。(2024年12月中旬時点)

昨年末に公開しております弊社作成の動画（『2024年のグローバル市況見通しと投資戦略』）における「企業業績を良くするのであれば増加するコスト分を価格に転嫁しなければならないが、それは同時に物価高となりインフレを加速させる要因ともなる。そのため、FOMCは大幅な利下げ、もしくは高い金利の維持、どちらにも振ることが出来ず慎重かつ緩やかな動きをとるだろう」という予測の通り、米国は堅調な経済とともにインフレ懸念を抱え続けた1年となりました。これだけの乱高下がありながらも中長期の経済見通しに大きな乖離はなく、マーケットの振れ幅に惑わされない長い目線での投資戦略が試された1年でもあったと思われます。そんな2024年を経て、2025年はどのような経済見通しとなっているのでしょうか。弊社では2025年に向けての市況見通しレポート・動画を今年も作成、公開予定です。ぜひこの機会にご覧ください。



皆さまにとって2024年はどんな1年でしたか。1月1日の能登半島の震災から始まり、多くの方が地震や台風、大雨といった自然災害、予期せぬ事故・事件に見舞われました。世界的な音楽家や俳優、芸術家、著名人の方々を見送る1年でもありました。海外の戦火に心を痛める日々もまだ続いています。ですが、スポーツに芸術、学問や文化、多くの分野で世界中の人々が素晴らしい活躍を見せ、皆が優しさをもって助け合い、大小さまざまな光でお互いを明るく照らしてくれた1年でもあったと思います。2025年はより明るく、たくさんの方々の笑顔があふれる1年となりますことを心より願っております。皆さま、どうぞ素晴らしい新年をお迎えください。

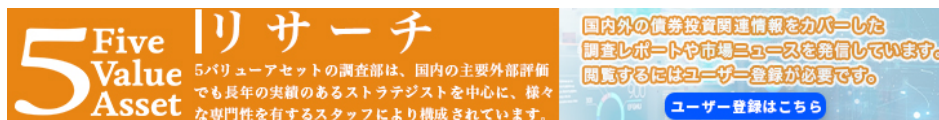
【動画・レポート紹介】2025年のグローバル市況見通しと投資戦略（2024年12月中旬公開予定）



Contents レポートとコラムのご案内

今月の5バリュー通信をお楽しみいただけましたでしょうか。最後に、本文でも引用しました弊社作成の様々なコンテンツについてご案内です。クレジット・アナリストによる詳細なマーケット見通しや、企業分析のレポート・動画は5バリューアセットのリサーチポータルより、様々な視点から金融や世界情勢に触れているコラムは、5バリュースクエアよりぜひこの機会にご覧ください。

【5バリューアセット リサーチポータル】



【5バリュー スクエア】



Postscript 編集後記

いよいよ2024年も終わりですね。皆さまは年初にその年の抱負を考えますか？私の今年の抱負は「やりたいことを先送りにせず実行する」でした。珍しく有言実行の1年となり、熱気球に乗ってみたい、ウミガメと一緒に泳いでみたいと、着々とリストを消化した12か月間でした。とある方からこんな話を聞きました。「叶えたいこと・やりたいことは、消化せずにそのままにしておく、たとえ自分がその願い事を忘れてしまっても、ダウンロードして使わないままのアプリやソフトウェアのようにコンピュータ（自分自身）のメモリ（心の余裕）を圧迫し続ける。これを消す方法は、実行することだけ。実行して初めて完全にデリートできるから、身も心も軽くなる。」この言葉にハッとした私は、影響されやすい性格も相まって、今年はとにかく行動したのです。願い事は何も大それたことばかりではなく、ほんのささやかな事柄もたくさんありました。遠方の親戚に電話をかける、疎遠になっていた友人に会う、保存していたレシピから料理を作る、気になっていたお店に入ってみる、日用品を新調する。1つ1つは小さな事でも、やってみると大きな充足感を得られました。さて、2025年はどんな1年にしようかと、リストを書き足す今日この頃です。（筆者：M）



5Value Asset Co., Ltd.



この通信は、当社ホームページに掲載するほか、当社セミナーにご参加いただいた方、業務提携をいただいた方、およびIFA口座をお申し込みいただいた方に送付しております。送付の停止・送付先変更をご希望の場合は、大変お手数ですが下記のメールにご連絡ください。送付の停止・送付先変更には、少々お時間をいただく場合がございます。

発行者：5バリューアセット株式会社 クライアント・リレーション

〒100-0004 東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビル20F

newsletter@5valueasset.com

https://5va.co.jp

